

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おもやい

目標達成計画

作成日：平成 26 年 10 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	広々とした田園風景が広がり、ホーム周辺は病院と介護施設の環境のなかで、民家がほとんどないため、地域との交流も大変であるが、地域担当の職員を決めて、周辺の行事や活動に準備段階から参加し、地域と信頼関係を築いていく。	運営推進会議の委員を地域から増員し、民生委員の協力をお願いし、地域の独居の高齢者の安否確認や、高齢者家族の心配や悩み事の相談を積極的に受け入れ、地域福祉の拠点を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化が進む中、車椅子の利用者が多くなり、職員の介護に費やす時間が増えて大変ではあるが、利用者が、自然の光や風を五感で感じる事が、大切であることを実感し、職員の頑張りでの外出の支援を増やしていく。	現在ホーム専用車がないので、利用者の状態や希望に応じて、「さあ、出掛けよう」といっても、法人の車を借りに行く間に、利用者の意欲がなくなり、外出が困難になるケースが増えているので、利用者が楽しみにしているドライブが、日常的に出来るように検討していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。